

大学院共通科目／総合科目Ⅰ

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

春AB 「社会基礎学～ グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ」

春BC 「社会基礎学～ グローバル人材に不可欠な教養Ⅱ」

秋AB 「社会基礎学～ グローバル人材に不可欠な教養Ⅲ」

【開講日時】 隔週 土曜日

13:30～16:30 (※講義日は裏面)

初回は13:00開始

【場所】 春日講堂 (春日エリア)

産業界・官界のトップランナーがオムニバス形式で講義をします。今、企業でどんな人材が求められているのか？ 学生に何を身に付けてほしいのか？ 土曜の午後を、貴方のキャリアアップの時間に充ててください。

大学院共通科目

大学院アドバンスト・ディスカッションコースⅠ・Ⅱ・Ⅲ

春ABC 「多極化時代への日本の挑戦、そして諸君の挑戦」

秋AB 「コーポレートガバナンス (企業統治) についての事例研究」

秋BC 「テクノロジーとグローバルで拓く未来」

オムニバス形式で講義をされた産業界のトップランナーが、ディスカッションを通して社会人基礎力として重要なさまざまな能力を育成します。



2014年度



JAPIC 会長

三村 明夫

Akio Mimura

新日鐵住金(株) 相談役名誉会長

JAPICとは

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会 (Japan Project-Industry Council : JAPIC) は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済、環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目指して活動して参りました。現在37業種197社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。

開設趣旨

世界は冷戦終結以降、新興国の急成長や情報通信技術の目覚ましい進歩、金融市場のボーダレス化などにより、大交流・大競争時代にシフトしています(グローバル化)。この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、学群1、2年生を主対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。

具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化とは?」、②「政治・政策」、③「安全保障・憲法」、④「経済・産業」、⑤「資源・エネルギー」、⑥「世界／アジア」(順不同)

また、大学院生を対象に、産業界のトップリーダーによるアドバンスト・ディスカッションコースを開設します。最新の社会、国際、ビジネス等分野の課題を捉え、議論を行い、深く考察していきます。

学生に期待するもの

講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か」、「グローバル化の中で日本は?」について理解し、大競争時代の事実認識についての強い関心と好奇心、グローバル時代にチャレンジするための備えに取り掛かることを期待します。

春AB

「社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養I」

第1回

4/19

[土]

13:00~16:30

**【導入講義】
連続リレー講義の
意味・意義と狙い**

高藪 裕三
Hiromitsu Takayabu

JAPIC専務理事・事務局長 筑波大学 顧問
プロフィール◆1968年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。販売・開発部門を経て経営トップの財界活動補佐、政・官・財界、マスコミ等幅広く交流。2004年JAPIC(現在民間企業会連約37業種197社)入社。政策提言シンクタンク「日本創生委員会」企画、運営。本リレー講義主管。福岡県出身。趣味：囲碁、ピアノ演奏。学生時代：真面目な学生運動。



**【パネルディスカッション】【第1部】
グローバル化とは何か？
グローバル化の中で日本は？**

宮木 勢
Isao Miyaki

【第1部基調スピーチ】

新日鐵住金(株) プロジェクト開発部長
プロフィール◆1983年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。鉄鋼製品営業部門、人事労務部門、広報部門等を経て、2013年から現職。国内国土強靱化にむけての新規プロジェクトの具現化、海外日本政府援助インフラプロジェクトの成案化に向けて活動中。大分県出身。趣味：ゴルフ、釣り、登山、スキー
講義概要◆グローバル化とは何か？基調講義で日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。

難波 ひとみ
Hitomi Nanba

【パネリスト】

JAPIC広報部主査
プロフィール◆1997年森ビル(株)入社、不動産開発部を経て、社長室にて都市の魅力づくりのための情報発信としてwebsiteや書籍を企画制作。2007年不動産投資ファンドに転職するもリーマンショックに連れ、再度の転職。2009年より現職。JAPICでは広報やグローバル人材育成委員会の事務局運営を担当。趣味：野菜料理、ヨガ、都市研究、特技：アラビア書道

**【パネルディスカッション】【第2部】
学生は何を学び、
何を身に付けるべきか？**

進藤 秀夫
Hideo Shindo

【第2部基調スピーチ】

東北大学 理事 産学連携担当
プロフィール◆1986年通商産業省入省。(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構ワシントン事務所長、経済産業省産業再生課長、紙業生活文化用品課長、大学連携推進課長、(独)産業技術総合研究所企画本副本部長などをを経て2013年7月より現職。神奈川県出身。趣味：よく食べ眠り、そして歩くこと。
講義概要◆グローバル人材とは何か？産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

吉川 晃
Akira Yoshikawa

【パネリスト】

本学 理事・副学長
プロフィール◆筑波大学 理事・副学長(財務・施設担当)

野村 港二
Koji Nomura

【コーディネーター】

本学教員
プロフィール◆本学教員

第2回

5/10

[土]

13:30~16:30

アジアの成長と日本

島崎 豊
Yutaka Shimazaki

丸紅(株) 参与 秘書部長 兼 広報部担当役員付部長
プロフィール◆1982年丸紅(株)入社。海外におけるインフラ施設の建設および投資事業に従事し、特に上下水等のビジネスを先がけて推進。経営トップの財界・社外活動の補佐業務等を経て現職に就任。日本創生委員。東京都出身。学生時代：グラントホッケー部所属。趣味：スミミング、ゴルフ。
講義概要◆中国、インドが台頭。東南アジア諸国も飛躍を続けるアジア。日本はいかにアジアと向き合うべきか？日本はいかにこれと向き合い、経済互惠戦略を構築すべきか論じる。

産業遺産

加藤 康子
Koko Kato

九州・山形の近代化産業遺産群 世界遺産登録推進協議会コーディネーター 内閣官房産業PTコーディネーター

プロフィール◆1985年米国CBS東京支社に勤務。その後ハーバードケネディ政治行政大学院修士課程修了(MCRP)1989年卒業後、世界各地で鉱工業を中心とした産業遺産の保存と活用調査を続ける。現在、会社を複数経営する傍ら、九州・山形の産業遺産群世界遺産構想プロデュースを手がける。著書「産業遺産」日本経済新聞社 出身：東京 趣味：工場や鉱山の見学、写真、産業施設訪問、好きな本：歴史小説 座右の銘：天は自らを助けるものを助ける。
講義概要◆日本は明治維新以来の急速な産業化の成功により、欧米列強による植民地化を免れることができた。産業化の歴史を産業遺産で振り返りながら、資源小国の日本の将来について「モノづくり」技術継承発展の重要性を論じる。

第3回

5/24

[土]

13:30~16:30

震災復興の現状と問題

内堀 雅雄
Masao Uchibori

福島県 副知事
プロフィール◆1986年自治省入省。福井県総務部財政課長、大蔵省主計局法規課長補佐、総務省自治財政局地方債課理事官、福島県生活環境部長、企画調整部長を経て、平成18年12月より現職。長野県出身。趣味：スポーツ観戦、音楽鑑賞。
講義概要◆地震・津波だけでなく未曾有の原子力災害からの復興を目指す福島県の取組みについて語る。これまでの復興への取組み、震災から3年が経過した福島今の現状や問題点などを通じ、様々な危機に直面した際取るべき行動や、より迅速な回復を図るための対策等について考える。

現代の金融システム

吉村 隆
Takashi Yoshimura

ゴールドマン・サックス証券(株) コンプライアンス部門統括 マネージングディレクター

プロフィール◆1985年日本銀行入省。IMF出向、ニューヨーク事務所次長、政策委員会室企画役を経て、2007年ゴールドマン・サックス証券(株)の現職に就任。日本創生委員。趣味：旅行、オペラ、ゴルフ。座右の銘：天網恢恢疎にして漏らさず。
講義概要◆金融は実体経済を支える一方で、実体経済に大きな影響も与える。今、世界的に見て、金融に何が起きているか概説する。

第4回

6/7

[土]

13:30~16:30

日本の一次産業

末松 広行
Hiroyuki Suematsu

農林水産省 関東農政局長
プロフィール◆1983年農林水産省入省。小泉官邸で内閣参事官、農林水産省では環境政策課長、食料安全保障課長、政策課長、林野庁林政部長等を歴任し現職。地方勤務は長崎県諫早市。著書は「食料自給率の「なぜ?」(扶養社2008年)など多数。食育、バイオマス・ニッポン、農産物輸出を提唱。埼玉県出身。中高の剣道部から大学時代は音楽に転向。
講義概要◆TPP、FTAの議論が進む中、日本の一次産業はいかにあるべきか?世界の例を見ながら一次産業の成長戦略を考える。

安全保障と憲法

吉崎 知典
Tomonori Yoshizaki

防衛省防衛研究所 理論研究部長

プロフィール◆1987年防衛省防衛研究所入省。英ロンдон大学戦争研究学部および米ハバードン研究所客員研究員を経て、2011年より現職。防衛省では自衛官や米軍人らに国家戦略や危機管理を講義し、東京外国語大学ではアフリカ、中東他の留学生に平和構築を教える。
講義概要◆現在の国際安全保障システムの中で、日本の憲法9条や集団的自衛権はどのように位置づけられるのか。自衛隊による「国づくり」支援、海賊対処、国際緊急援助といったグローバルな活動をどう理解するべきか。新しい視点で論じたい。

第5回

6/14

[土]

13:30~16:30

【パネルディスカッション】成長戦略／国土強靱化

山崎 亜也
Aya Yamazaki

【パネリスト】

住友商事(株) 理事 資源・化学品事業部門長付
プロフィール◆1978年日本輸出入銀行(現国際協力銀行)入行。対外経済政策を担う同銀行の経営企画、各種機能を通じた日本企業の海外ビジネスの支援、アジア危機対応などの政策形成・実施、各国政治・経済事情の分析などに従事。2009年から現在の職に就いて、海外の資源開発事業・インフラ事業などの資金調達や事業環境整備に関与。日本創生委員。東京都出身。趣味：読書、俳句など。

片岡 隆一
Ryuichi Kataoka

【パネリスト】

経済産業省 経済産業政策局 調査課長
プロフィール◆1993年通産省入省。大臣官房企画室(いわゆる21世紀ビジョン)、在南アフリカ共和国大使館、通商政策局企画調査室長(通商白書2010)、内閣府企画官(経済対策を始めとする経済財政運営の総括担当)、内閣官房日本経済再生総合事務局(産業競争力会議担当、産業の新陳代謝、科学技術・イノベーションなどを担当)を経て、現職。経済財政諮問会議などマクロ経済政策を担当。

佐藤 信秋
Nobuaki Sato

【パネリスト】

参議院議員
プロフィール◆1972年建設省(現国土交通省)入省。国土交通省道路局長、技監、事務次官を歴任し、2006年退官。2007年参議院議員に初当選。国土交通委員会理事、災害対策特別委員会理事、東日本震災復興特別委員会理事などを要職を歴任。現在環境委員長、自由民主党国土強靱化総合調査会筆頭副会長など。趣味：釣り 得意なスポーツ：柔道(6段) 座右の銘：敬天愛人

門脇 直哉
Naoya Kadowaki

【パネリスト】

JAPIC常務理事
プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味：テニス、ゴルフ、読書

石田 東生
Haruo Ishida

【コーディネーター】

本学教員
プロフィール◆本学教員

講義概要◆現代は、急速なグローバル化の進展、先進国の成熟化と新興国の急速な台頭により、世界の枠組みが大きく変化している。一方、国内的には東日本大震災の発生に続き、首都直下や南海トラフ地震の発生も懸念され、財政難のなか「国土強靱化」に取り組むことも重要施策とされ、加えて中長期的には人口減少も大きな課題となっている。このような内憂外患の中、日本は如何に国力を維持・成長させるべきか、この国の成長戦略を議論し、日本の進むべき未来を論じる。

「社会基礎学～ グローバル人材に不可欠な教養Ⅱ」

第1回

6/28

【土】

13:00～16:30

【導入講義】
連続リレー講義の
意味・意義と狙い

門脇 直哉

Naoya Kadowaki

JAPIC常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理・厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味:テニス、ゴルフ、読書

【パネルディスカッション】【第1部】
グローバル化とは何か？
グローバル化の中で日本は？

田邊 弘幸

Hiroyuki Tanabe

【第1部基調スピーチ】

双日(株) 顧問

プロフィール◆1968年日商岩井(株)(現 双日(株))入社。双日(株)エネルギー金属資源部門長・専務執行役員、代表取締役副社長・米州総支配人などを経て2011年現職就任。ハーバード・ビジネススクールAMP修了。日本副生委員。三重県伊勢市出身。趣味:音楽。学生時代大学のオーケストラに参加、バイオリンを習い始めたが3年間で挫折。反動で通算9年間のNY滞在中はオペラ、交響楽団など演奏会館で熱中。

講義概要◆グローバル化とは何か?基調講義で日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。

門脇 直哉

Naoya Kadowaki

【パネリスト】

JAPIC常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。経理・厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味:テニス、ゴルフ、読書

【パネルディスカッション】【第2部】
学生は何を学び、
何を身に付けるべきか？

森 昌文

Masafumi Mori

【第2部基調スピーチ】

国土交通省 大臣官房 技術審議官

プロフィール◆1981年建設省(現 国土交通省)に入省。道路局、北陸・東北・九州地方整備局を経て、1999年アメリカ合衆国連邦運輸省、その後国土交通省国総研ITS研究室、道路事業調整総括、道路局企画課長、高速課長を経て、現在、大臣官房技術審議官を務める。2011年から2年間筑波大学システム情報工学研究科で学ぶ。奈良県出身

講義概要◆グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

山岸 由紀

Yuki Yamagishi

【コーディネーター】

本学教員

プロフィール◆本学教員

第2回

7/5

【土】

13:30～16:30

グローバル時代の都市開発

山本 和彦

Kazuhiko Yamamoto

森ビル(株) 特別顧問

プロフィール◆1969年日本住宅公団を経て、74年に森ビル(株)入社。ナンバービルから東京のグローバル化の進展に伴ってアークヒルズ、六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ等の都市開発に関わり、現在は森ビル都市企画(株)の社長として日本の地方の再開発、アジア、韓国、中国、台湾等の都市開発のコンサルティングに携わっている。森ビルグループでは、不動産協会 都市政策委員長、再開発コーディネーター協会副会長も務め、若手人材の育成にも注力。

講義概要◆不動産はまさに文字どおり動かないものである、土地から切っても切れないローカルから進化してきたものであった。しかし不動産が金融商品になり、金融商品としては瞬時に世界も飛び回るようになり、又ヒト・モノ・情報が世界を動き、グローバルスタンダードを求めようにもなってきた。ローカルとグローバルの狭間にある。グローバル時代の都市開発について語りたい。

地方からの改革で国を変える

松沢 成文

Shigefumi Matsuzawa

参議院議員 / 前神奈川県知事

プロフィール◆1987年神奈川県議会議員選挙に県政史上最年少で初当選。以後、衆議院議員連続3期、神奈川県知事2期8年、2013年参議院議員に当選。予算委員会、文教科学委員会に所属し、みんなの党国民運動委員長を務める。他に、吉本興業グループの文化人枠に所属し同社とともにリアルプロジェクトを推進。趣味:ジョギング、映画鑑賞、歴史研究

講義概要◆私は神奈川県知事として、知事多選禁止条例、受動喫煙防止条例、インベスト神奈川(企業誘致政策)、電気自動車の普及促進、水源環境税の導入、高校日本史の必修化など全国初の様々な改革を実践してきました。こうした改革を日本全国に広げ日本再生を図るため、参議院議員として国政の場で神奈川発の改革を提案しています。その行動と実践を紹介します。

第3回

7/12

【土】

13:30～16:30

アジアの成長と日本

宮木 勢

Isao Miyaki

新日鐵住金(株) プロジェクト開発部長

プロフィール◆1983年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。鉄鋼製品営業部門、人事労務部門、広報部門等を経て、2013年から現職。国内国土強靱化にむけての新規プロジェクトの具現化、海外日本政府援助インフラプロジェクトの成業化に向けて活動中。大分県出身。趣味:ゴルフ、釣り、登山、スキー

講義概要◆中国、インドが台頭。東南アジア諸国も飛躍を続けるアジア。日本はいかにアジアと向き合ふべきか?日本の官民がどのようにしてアジア諸国と経済互惠戦略を構築すべきか論じる。

日本の安全保障環境と防衛政策

鈴木 敦夫

Atsuo Suzuki

防衛省 大臣官房審議官

プロフィール◆1995年防衛庁入庁。総理府国際平和協力本部事務局参事官補佐、米国防務省国家戦略研究所客員研究員、防衛省防衛政策課研究室長(兼)調査課情報室長、運用局運用課長、運用企画局国際協力課長、防衛政策局調査課長、防衛政策局防衛政策課長、大臣官房米軍再編調整官などを経て現職(いづれも当時の名称)。

講義概要◆昨年12月に我が国最初の「国家安全保障戦略」とともに、新たな「防衛計画の大綱」が策定された。新興国の台頭により国家間のパワーバランスが変化すると、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増している。これに対して、我が国の新しい安全保障・防衛政策はどう対応しようとしているのか。特別な軍事知識等は不要。時事問題を扱いながら分かり易く解説したい。

第4回

7/19

【土】

13:30～16:30

企業経営の現状・課題と戦略

武田 厚

Atsushi Takeda

日鉄住金鋼板(株) 代表取締役社長

プロフィール◆1970年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。西ドイツ(当時)ルール大学に留学。建材営業部長、薄板営業部長、取締役大阪支店長を経て、2006年日鉄鋼板(株)社長、2006年住金建材との事業統合により日鉄住金鋼板(株)社長、現在に至る。東京都出身。中学から社会人までサッカー一筋の人生。

講義概要◆日本経済の「失われた20年」を回顧しながら、アベノミクスが本番を迎えた今、日本の企業(特に製造業)が置かれた状況をベースに現在直面する企業経営上の課題と戦略について論述する。

グローバル時代を味方につけよう

平野 英治

Eiji Hirano

トヨタファイナンシャルサービス(株) 取締役副社長

プロフィール◆1973年日本銀行入行。国会・広報担当審議役、国際局長、理事・国際関係担当を経て2006年退任。同年6月トヨタファイナンシャルサービス取締役副社長に就任。海外販売金融事業全般、リスク・トレジャーを担当。1978年ハーバード大学大学院修士号取得。神奈川県横浜出身。趣味:サッカー観戦、ゴルフ。

講義概要◆グローバル化は選択の問題ではなく、必然の流れである。その流れを味方につけ、たくましく生き抜くための基本的な心構え、素養について講師の日本銀行およびトヨタグループにおける実体験を交えて、分かり易く解説し、問題提起をしたい。

第5回

7/26

【土】

13:30～16:30

【パネルディスカッション】 資源エネルギー

奥住 直明

Naoki Okuzumi

【パネリスト】

(株) 東芝 コーポレートコミュニケーション部長

プロフィール◆1979年東京芝浦電気(株)(現(株)東芝)入社。約20年間沸騰水型原子力発電所のシステム設計に従事。その後本社スタッフとして、技術管理部長、イノベーション推進部長を経て現職。広報、CSR、経営トップの財界活動補佐、政・官、財界などと会社を結び仕事に取り組む。神奈川県出身。趣味:ピラティスマット、ゴルフ(ただし下手)

福島 伸享

Nobuyuki Fukushima

【パネリスト】

前衆議院議員

プロフィール◆1995年経済産業省入省。橋本内閣の行政改革、電力、ガスの部分自由化、原子力災害対策特別措置法の立案、バイオ産業振興政策の立案、構造改革特区制度の設立等に携わる。政界に転じ2度の落選を経て2009年衆議院議員選挙で初当選(茨城1区)。2012年の衆議院選挙で惜敗。茨城県出身。学生時代はヨットで全日本インカレ個人戦準優勝。

講義概要◆3.11東日本大震災に伴う原発事故の発生により、原発を巡り論議が二分される中、再生可能エネルギーの導入も伸び悩み、貿易収支の悪化が顕在化している。一方世界に目を転じると、新興国の経済成長に伴い多くの資源価格が高騰し、需要の高まりが予測されている。一方、地球環境問題も大きな課題である。このような中、日本がどのような戦略をとるべきか、日本のエネルギー戦略を議論する。

門脇 直哉

Naoya Kadowaki

【パネリスト】

JAPIC常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。経理・厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味:テニス、ゴルフ、読書

内山 洋司

Haruo Ishida

【コーディネーター】

本学教員

プロフィール◆本学教員

秋 AB

「社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養Ⅲ」

第1回
10/11
【土】
13:00～16:30

【導入講義】
**連続リレー講義の
意味・意義と狙い**

門脇 直哉

Naoya Kadowaki

JAPIC常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株) (現 新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味:テニス、ゴルフ、読書



【パネルディスカッション】【第1部】
**グローバル化とは何か？
グローバル化の中で日本は？**

甲村 謙友

Kenyu Komura

【第1部基調スピーチ】

独立行政法人水資源機構 理事長

プロフィール◆1974年建設省入省。主として水関係分野に携わり、2011年1月国土交通省技監。個人事業主を経て2011年9月から現職。趣味:パソコン。アルコールの入った水を飲むこと。
講義概要◆グローバル化とは何か?基調講義で日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。

竹内 眞之介

Shinnosuke Takeuchi

【パネリスト】

新日鐵住金(株) 総務部 秘書室 主幹

プロフィール◆1997年新日本製鐵(株) (現 新日鐵住金(株))入社。広畑製鐵所にて生産管理、総務、本社にて輸出営業、海外事業投資、企画調整業務を担当した後、現在は本社秘書室にて今井・三村両名誉会長を補佐。趣味はサッカーと蕎麦打ち。大学時代に参加したサッカー天皇杯予選では筑波大と対戦し0-6と大敗。蕎麦打ち歴は約10年になるが、材料・製法共にシンプルにも関わらず、奥深いのが好きだと似ている。

永野 真紀

Maki Nagano

【パネリスト】

(株)日立製作所 経営企画本部 主任

プロフィール◆1998年にエンターテインメント企画・運営に入社し、主に交渉・契約を担当。2001年に現職となり、流通・産業・金融分野での新規事業のコンサルティング業務を経て、その後電力会社の新規事業の計画や事業戦略立案など、国内外の市場調査を含めたコンサルティング業務を担当。現在は社会インフラ構築に関わる社外提案活動を手掛ける。

【パネルディスカッション】【第2部】
**学生は何を学び、
何を身に付けるべきか？**

伊藤 和史

Kazuo Ito

【第2部基調スピーチ】

WAO 研究所 代表

プロフィール◆1984年運輸省入省。港湾局開発課課長補佐、国交省神戸海運監理部運輸部長、新日本製鐵プロジェクト開発部長代理(官民交流)、港湾局計画課事業企画官等、2006年から北九州市港湾空港局理事、局長を経て退職。WAO研究所代表、(株)アルファ水エレクトロニクス特別顧問。東京都狛江市出身。趣味:日本各地の探訪、風景写真撮影、書道、読書。
講義概要◆グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

五十嵐 浩也

Hiroya Igarashi

【コーディネーター】

本学教員

プロフィール◆本学教員

第2回
10/18
【土】
13:30～16:30

企業経営の現状・課題と戦略

佐藤 博恒

Hirotsune Sato

新日鐵住金(株) 常務執行役員 人事労政部長

プロフィール◆1981年新日本製鐵(株) (現 新日鐵住金(株))入社。厚板事業部厚板営業部等を経て2009年より人事労政部長。人事管理、採用、人材育成を担当。その他、(社)中央労働基準協会 会長、(社)日本経営協会 参与、(社)日本能率協会人事・教育部門評議員 評議員を兼務。大分県出身。小中高で生徒会長。高校までピアノも嗜む。
講義概要◆日本経済の将来と成長戦略に於いて、日本の産業がたどってきたこれまでの歴史と現状を解説し、今後何をしていくべきか多面的に論じる。

スマートシティの実現に向けて

梶浦 敏範

Toshinori Kajiura

(株)日立製作所 情報・通信システム社 上席研究員

プロフィール◆1981年(株)日立製作所入社。PCや郵便区分機の開発、金融ビッグバンソリューションの企画などを経験し、2002年より政府のIT政策に関わる。政策に関する社外活動が多く、経団連でのインターネットエンジニア作業部会など複数の会合の主査、情報通信学会理事なども務める。JAPICでは日本創生委員会初期からのメンバー。
講義概要◆20世紀後半以降、最も革新的に伸びたのはIT(情報通信技術)である。当初研究機関に1台しかなかったような機器が今では皆さんのポケットの中にある。計算する・記憶する・通信する・検索するなどの機能が拡大し、街全体の運営にすらITが関わるようになってきた。ここでは、いわゆるスマートシティの現状と課題を紹介し、今後の展望について議論する。

第3回
11/8
【土】
13:30～16:30

日本の現代政治

小池 英夫

Hideo Koike

日本放送協会 報道局 政治部長

プロフィール◆1985年NHKに入局。政治部記者として、自民党・防衛庁などを取材。首相官邸クラブキャップ・平河(自民党)クラブキャップ、「ニュース7編集責任者」などを経て、現在は政治部長。
講義概要◆日本が世界の一等国として地位を葆ち、リーダーとして再び輝く為に、政治が今、何をしなければならぬか論じる。

日本のエネルギー戦略

伊藤 禎則

Sadanori Ito

経済産業省 資源エネルギー庁 企画官

プロフィール◆1994年経済産業省入省。コロンビア・ロースクールでLL.M (Master Of Law)取得し、米国ニューヨーク州弁護士登録。通商政策局にて日米通商交渉、製造業局にてエコカー支援策の企画立案。資源エネルギー庁にて電気事業制度、震災後の東電改革等の担当を経て現職。東京都出身。趣味:旅行、ゴルフ。
講義概要◆エネルギーは産業活動と国民生活の礎。化石燃料を輸入に頼る日本で、いかにエネルギー戦略を構築し、実行していくか。海外各国の動向にもふれつつ、日本の成長を支える強靱なエネルギー戦略を考える。

第4回
11/22
【土】
13:30～16:30

地方自治体の政策・経営論

松岡 斉

Hitoshi Matsuoka

日本総合研究所 所長

プロフィール◆1979年大東事務所入所。大東外相、大東対外経済関係担当政府代表の秘書を経て、ウィルソンセンター(米国ワシントンDC)アジア研究部勤務。帰国後、大東事務所事務局長、1993年(財)日本総合研究所入所、企画部長、副所長を経て、2008年より所長。徳島県出身。
講義概要◆日本の創生に向けて地域・地方が重要な役割を果たすことが期待される中で、地方自治体がその役割をどのように担うことができるか、最新の都道府県別幸福度ランキングを使い、今後の自治体の政策・経営論を概説する。

自動車産業の技術革新

永田 俊彦

Toshihiko Nagata

トヨタ自動車(株) 渉外部 担当部長

プロフィール◆1983年トヨタ自動車(株)入社。海外の需要予測・市場調査、経済企画庁(現内閣府)出向を経て、現在、経営トップの財界・業界活動補佐、官庁渉外を担当。福岡県出身。学生時代:グラッドホッケー部所属。
講義概要◆日本の自動車産業のこれまでの歩みを振り返るとともに、環境や安全など直面する課題に対して、技術を中心にどう乗り越えようとしているかについて論じる。

第5回
12/13
【土】
13:30～16:30

【パネルディスカッション】**安全保障／外交防衛**

鈴木 敦夫

Atsuo Suzuki

【パネリスト】

防衛省 大臣官房審議官

プロフィール◆1985年防衛庁入庁。総理府国際平和協力本部事務局参事官補佐、米国防務大学国家戦略研究所客員研究員、防衛局防衛政策課課長(兼)調査課情報室長、運用局運用課長、運用企画局国際協力課長、防衛政策局調査課長、防衛政策局防衛政策課長、大臣官房米軍再編調整官などを経て現職(いずれも当時の名称)。

太田 誠

Makoto Ohta

【パネリスト】

21世紀政策研究所 事務局長

プロフィール◆1986年経団連事務局入局。博士(学術)。国際経済本部調査役(北東アジア・ロシア担当)、産業政策本部次長(産業政策、国際物流政策担当)、国際協力本部副本部長(韓国担当)を経て2012年より現職。1991年～95年全国経済人連合会出向(ソウル)。東京都出身。専門は李氏朝鮮の外交思想と行政過程論。

樽床 伸二

Shinji Tarutoko

【パネリスト】

前衆議院議員

プロフィール◆1993年衆議院議員に初当選、当選5回。民主党副幹事長、国土交通大臣、国会対策委員長代理、団体交流委員長、衆議院環境委員長、国会対策委員長、衆議院国家基本政策委員長、民主党幹事長代行、総務大臣を歴任。趣味:スポーツ全般、歌うこと。座右の銘:嵐火山。

門脇 直哉

Naoya Kadowaki

【パネリスト】

JAPIC常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株) (現 新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味:テニス、ゴルフ、読書

辻中 豊

Yutaka Tsujinaka

【コーディネーター】

本学教員

プロフィール◆本学教員

講義概要◆21世紀に入り、グローバル化の進展に伴って、世界のパワーバランスは急激に変化している。一方、日本を取り巻く東アジアの安全保障環境も混沌としており、また周辺諸島の領土問題など一層厳しさを増している。その不透明な時代に、我が国はどのように対応するべきか、我が国の安全保障／外交防衛を議論する。

大学院アドバンスト・ディスカッションコース I・II・III 講義スケジュール

最新の社会問題、国際問題、ビジネス上の課題を対象に議論を行い、社会人基礎力として重要なさまざまな能力を培う。

世話教員 ● 石田 東生 (システム情報系・教授) ● 野村 港二 (教育イニシアティブ機構・教授)

春ABC

大学院アドバンスト・ディスカッションコース I 「多極化時代への日本の挑戦、そして諸君の挑戦」

担当教員 田邊 弘幸 (筑波大学客員教授、双日(株)顧問) パネリスト 6/11 西原 茂 (双日(株)常務執行役員)、平井 龍太郎 (双日(株)執行役員)

コメンテーター 7/2 James Regent (双日(株)人事総務部勤務)

キーワード 熱い議論の展開。興味の幅を増やす(知らない事への挑戦)。自信と謙虚さの相対関係を知る。

第1回

5/14 [水] 筑波大学
13:30~

- イントロダクションと議論の展開
Multi-Polarとは何か? (配布される資料に基づく概要説明と質疑)
アンケート結果に基づく全員参加型の議論

第2回

6/11 [水] 筑波大学
13:30~

- 与えられた宿題の発表とそれに基づく議論。
- パネルディスカッション
「激動する世界の中で日本の立ち位置は? 日本の企業の今後の展開は? 若手社員・学生諸君へ何を期待するか?」
パネラー: 西原 茂 (双日(株)常務執行役員)、平井 龍太郎 (双日(株)執行役員)、コーディネーター: 田邊 弘幸
上記テーマに即した意見を各パネラーから発表、これを受けて全員参加で議論を深める。

第3回

7/2 [水] 双日(株)
13:30~

- 推薦図書読了後の感想文提出とその発表及び議論。
- James Regent氏による意見発表(英語による発表と議論)
テーマ: [Expectations for Japanese Young Generation!] (日本の若い人たちに望むこと)
- ラップアップ・セッション

● 履修申請期間: 平成26年4月7日(金)~4月24日(木)

秋AB

大学院アドバンスト・ディスカッションコース II 「コーポレートガバナンス(企業統治)についての事例研究」

担当教員 武田 厚 (筑波大学客員教授、日鉄住金鋼板(株)代表取締役社長) キーワード ケーススタディとディスカッションを通しての経営疑似体験

第1回

10/1 [水] 日鉄住金鋼板(株)
11:00~ 船橋製造所

- イントロダクション
1. ゼミ開講に当たって ①ゼミの狙いと主旨、②ゼミの進め方、③講師及びメンバー紹介
2. 日鉄住金鋼板(NISC)の変遷(NISC劇場の開幕)
3. 基礎となる情報・知識 ①鉄の製造工程と製品(概略)、②亜鉛めっき・カラー鋼板市場と需給構造の変化
4. 工場見学
5. 次回予告と質疑

第2回

10/15 [水] 筑波大学
13:00~

- 企業の統合・再編
1. ケース①NISCの誕生と事業構造改革 ~発表・討論
2. ケース②経営システム統合(BPI運動) ~発表・討論
3. ケース③ブランド統合プロジェクト(ニスクカラー) ~発表・討論
4. まとめ及び次回予告と質疑

第3回

10/29 [水] 筑波大学
13:00~

- 事業の海外展開
1. ケーススタディ 複数の具体的事例をもとに、事業の海外展開におけるリスク、統合再編・合併事業に関わる企業統治等について討論する。
2. まとめ及び次回予告と質疑

第4回

11/12 [水] 筑波大学
13:00~

- 事故・事件でのBCPリスク
1. ケーススタディ 複数の具体的事例をもとに、企業が起こした事故・事件に関するBCPリスクについて、企業統治(コーポレートガバナンス)の観点から討論する。
2. まとめ
- コーポレートガバナンスについて
1. まとめ(コーポレートガバナンスについて)
2. 全体総括(ゼミ終了に際して)

● 履修申請期間: 後日お知らせします

秋BC

大学院アドバンスト・ディスカッションコース III 「テクノロジーとグローバルで拓く未来」

担当教員 岩田 眞二郎 (筑波大学客員教授、(株)日立製作所 代表執行役 執行役副社長)

メンター 検討中

キーワード 夢と情熱。グローバルに戦う為に。テクノロジー、問題発見能力。質問力。仮説構築力=考える力。

第1回

11/8 [土] 筑波大学
13:00~

- グローバルに生き・仕事をして行く
何故、今、グローバル化が必要なのか、そして、ビジネスのグローバル展開に必要な事は何かを実ビジネスの視点・経験を踏まえて議論する。同時に、グローバルに生き・仕事をして行く為に、必要な人材像、ビジネス文化の相違についても議論・検討する。

第2回

12/17 [水] 都内
13:00~ (場所は別途ご連絡致します)

- テクノロジーで未来を拓く
日本の将来にとってテクノロジーが何故重要かを議論・検討する。そして、「イノベーションのジレンマ」を教材に使い、テクノロジーが産業に与える影響を研究する。又、最近のIT業界の主要技術動向を取り上げ研究する。
グローバルに活躍する人達からのメッセージ: 検討中

第3回

1/24 [土] 筑波大学
13:00~

- テクノロジーで未来を拓く
2回目(12/17)に引き続き、日本の将来にとってテクノロジーが何故重要か議論・検討を深める。
「魂の経営」を教材に使い、テクノロジーが産業に与える影響を研究し、最近のIT業界の主要技術動向を取り上げ研究する。
グローバルに活躍する人達からのメッセージ: 検討中

● 履修申請期間: 後日お知らせします